




国立がん研究センター  ganjoho.jp

届けるを贈る 届けるを支える『がん情報ギフト』プロジェクト

活動報告書 2019年度

(2019年8月1日~2020年7月31日)

ご寄付いただきありがとうございました。

2019年度「がん情報ギフト」の寄付収支、および取り組みについてご報告いたします。

目次

●ごあいさつ.....	1
●ご寄付ご芳名.....	1
●寄付金のご報告.....	2
●1年間の活動成果：寄贈品・寄贈数.....	3
●「がん情報ギフト」に寄せられた利用者の声.....	3
●2019年8月~2020年7月寄贈館一覧.....	4
●2020年9月新規寄贈予定館一覧.....	6
●巡回図書「身近にがんを考える」展示キット.....	7
●2019年8月~2020年7月寄贈館：寄贈先の紹介.....	8
●図書館・行政・病院の連携による市民への情報提供の充実に向けた取り組み.....	11
●メディア掲載.....	13
●寄付プロジェクト普及に向けた取り組み.....	15

● ごあいさつ

「すべての人が、必要なときに、信頼できるがん情報を得られる社会」を目指して2017年7月よりスタートした「がん情報ギフト」プロジェクト。皆さまの心温まるご支援を賜り、3年目を迎えました。ご寄付をもとに、今年度（2019年8月～2020年7月）は全国31都道府県176館に寄贈し、開始から寄贈館数は全国47都道府県365館となりました。



今年度から、地域の図書館が“がんの情報発信基地”として充実した取り組みを図れるよう、都道府県内の図書館をリレー方式にて巡回させていく、巡回図書「身近にがんを考える」図書展示キットの取り組みを新たに始めました。2020年4月より北海道内の巡回が開始され、さらに、9月からは三重県内での巡回も追加されました。更新・補充用の資料の提供や、地域のがん相談支援センターと繋ぐ取り組み等を通じて、すでに寄贈させていただいた館との連携もより深めて参ります。

皆さまのご支援に深謝申しあげますと共に、今後もますます広がりを見せる「がん情報ギフト」プロジェクトへご協力を賜りますようお願い申しあげます。

2020年11月

国立がん研究センターがん対策情報センター
センター長 若尾 文彦

● ご寄付ご芳名

届けるを贈る届けるを支える『がん情報ギフト』プロジェクトにご寄付をいただいた皆さまに、感謝の意を込めて、お名前を掲載させていただきます。

●ご寄付いただいた期間：2019年8月1日～2020年7月31日

●法人・団体（五十音順）-----

インケア株式会社 様

住友生命保険相互会社 様

神奈川県ロータリークラブ 様

福岡県立図書館職員有志 様

株式会社北信臨床 様

有限会社 BIGWAVE 様

緩和ケア推進コンソーシアム 様

●個人（受付順）-----

内田哲也 様

吉岡真紀子 様

岡田 隆 様

他66名（※つながる募金29件を含む）

日向良和 様

●がん情報ギフト連携プロジェクト(2019/2020年度医療機関助成)-----

公益財団法人正力厚生会 様

※掲載にご承諾いただいた方のみ、お名前を掲載しております。

※漢字につきましては、表示が困難な場合、常用漢字に置き換えて掲載している場合がございますので、ご了承ください。

● 寄付金のご報告

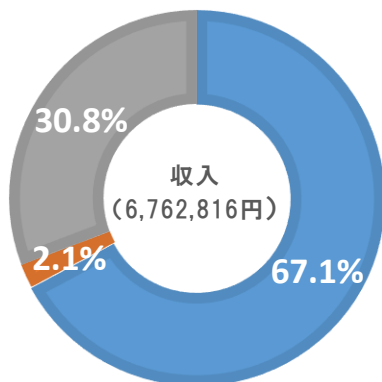
プロジェクト年度	収入 (円)	支出 (円)	次年度繰越 (円)
前年度 (2018/8/1-2019/7/31) まで	10,000,841	5,141,602	4,859,239
2019年度 (2019/8/1-2020/7/31)	6,762,816	8,707,294	-1,944,478
合計	16,763,657	13,848,896	2,914,761

※支出 (円) に 2020 年 9 月、12 月寄贈分の金額は含んでおりません。

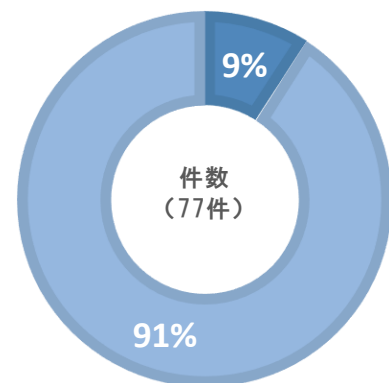
※巡回図書「身近にがんを考える」展示キット (P.7 掲載)、図書館 -がん相談支援センター連携ワークショップ (P.11-12 掲載) は「がん情報ギフト連携プロジェクト」事業助成による別途会計のため、収入・支出金額には含んでおりません。

寄贈館情報	
新規寄贈館：176 館	冊子の更新対象館：192 館

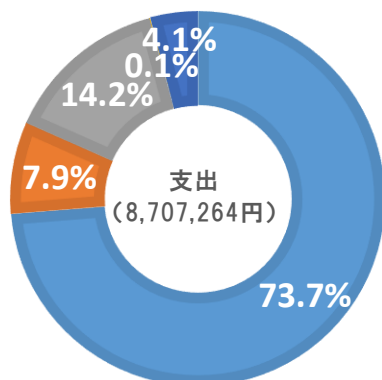
* 2019 年度 (2019 年 8 月 1 日～2020 年 7 月 31 日)



■ 寄付 (法人・団体) ■ 寄付 (個人) ■ 助成金



■ 法人・団体 ■ 個人



■ 新規寄贈セット (冊子チラシ、ラック、配送料等)
 ■ 継続のための費用 (冊子チラシ、ラック、配送料等)
 ■ 広告費 ※1
 ■ その他 (通信料、雑費など)
 ■ 事務手数料 ※2

※1 ご寄付いただいた企業様と広告を掲載することを申し交してございましたため、その企業様からのご寄付のうち、所定の金額を広告費として使用しました。

※2 寄付金額が 10 万円以上の場合に限り、国立がん研究センター寄付取扱規程第 8 条に基づき、寄付金額の 10%を当センター全体の事業のために活用させていただいております。

● 1年間の活動成果：寄贈品・寄贈数

● 寄贈品「がん情報ギフト」

がんに関する資料セット 35,000 円相当

【内容】

- ・「がんの冊子」(閲覧用冊子 33 種、配布用冊子 8 種)
- ・ちらし 1 種
- ・冊子用バインダー
- ・配架用ラック



「がん情報ギフトセット」

● 寄贈数 2019 年度 (2019 年 8 月～2020 年 7 月)

全国 31 都道府県の計 176 図書館に寄贈しました。また、2019 年 6 月までに寄贈した図書館には、更新された冊子をお届けしました。

● 「がん情報ギフト」に寄せられた利用者の声

図書館で「がん情報ギフト」と出会った方から、たくさんの感謝の声が寄せられています。

患者の方だけでなく、患者のご家族やご友人の立場の方など、このギフトを手にとられた想いはさまざまです。寄せられた声の中から、一部をご紹介します。

とても分かりやすくまとめてあるので、中学生でも読めると思い、いただいた冊子を勤務する中学校の保健室前に置きました。手に取ってくれる生徒もいました。

(福島県・女性)

最新の情報がコンパクトにまとめられていてよかった。

(広島県・男性)

図書館なら誰にも気にしないで情報が入手できる。

(広島県・女性)

「もしも、がんと言われたら」の冊子にあった「患者さんの手記」が参考になりました。多くの本が配置されているなか、療養に向けた情報収集のスタート地点として、ここなら安心できるなと思いました。

(愛知県・男性)

分かりやすく、分量もちょうどよく書かれてあり、とても理解できた。

(静岡県・女性)

主治医への具体的な質問内容を考えるヒントになりました。とても参考になり、手元に一冊欲しいです。

(鹿児島県・男性)

● 2019年8月～2020年7月寄贈館一覧

北海道	美唄市立図書館	福島	福島市立図書館	神奈川	横浜市幸ヶ谷公園 コミュニティハウス 図書コーナー
	旭川市立中央図書館		会津市立会津図書館		横浜市神之木地区コミュニティセンター 図書コーナー
	千歳市立図書館		須賀川市中央図書館		座間市立図書館
	北見市立中央図書館		二本松市立二本松図書館		二宮町図書館
	岩見沢市立図書館		白河市立図書館		ほんぽーと 新潟市立中央図書館
	江別市情報館		南相馬市立中央図書館		甲府市立図書館
	滝上町図書館	猪苗代町図書歴史情報館	富士吉田市立図書館		
	市立名寄図書館	茨城	水戸市立内原図書館	都留市立図書館	
	市立富良野図書館	栃木	下野市立国分寺図書館	大月市立図書館	
	登別市立図書館	埼玉	さいたま市立中央図書館	南アルプス市立中央図書館	
	恵庭市立図書館		熊谷市立妻沼図書館	北杜市ながさか図書館	
	石狩市民図書館		越谷市立図書館	甲州市立勝沼図書館	
	栗山町図書館		熊谷市立熊谷図書館	中央市立田富図書館	
	新ひだか町図書館		所沢市立所沢図書館	中央市立玉穂生涯学習館	
	音更町図書館		飯能市立図書館	市川三郷町立図書館	
	新得町図書館		鴻巣市立鴻巣中央図書館	南部町立南部図書館	
	上士幌町図書館		和光市図書館	忍野村おしの図書館	
	芽室町図書館		桶川市立桶川図書館	駒ヶ根市立図書館	
	幕別町図書館		船橋市西図書館	佐久市立中央図書館	
	本の森 厚岸情報館		松戸市立図書館	松本市中央図書館	
	札幌市図書・情報館		習志野市立大久保図書館	瑞浪市民図書館	
	札幌市東札幌図書館		市原市立中央図書館	恵那市中央図書館	
	美瑛町図書館		鎌ヶ谷市立図書館	浜松市立舞阪図書館	
	枝幸町立図書館	袖ヶ浦市立中央図書館	浜松市立都田図書館		
	佐呂間町立図書館	港区立みなと図書館	島田市立金谷図書館		
	興部町立図書館	立川市中央図書館	富士市立図書館		
足寄町図書室	荒川区立ゆいの森図書館	袋井市立袋井図書館			
ニセコ町学習交流センター「あそぶっく」	あきる野市立中央図書館	菊川市立小笠図書館			
青森	小平市中央図書館	岡崎市立中央図書館			
岩手	五所川原市立図書館	東大和市立中央図書館	田原市中央図書館		
	釜石市立図書館	青梅市中央図書館	稲沢市立中央図書館		
	二戸市立図書館	菅田地区コミュニティセンター 図書コーナー	四日市地域総合会館 あさけプラザ図書館		
	奥州市立胆沢図書館	横浜市神大寺地区センター 図書コーナー	四日市市立図書館		
秋田	洋野町立種市図書館	横浜市神奈川図書館	伊勢市立小俣図書館		
	秋田市立新屋図書館	秦野市立図書館	伊賀市上野図書館		
	秋田市立中央図書館明德館	鎌倉市中央図書館			
	能代市立図書館	藤沢市総合市民図書館			
	横手市立雄物川図書館	藤沢市湘南大庭図書館			
山形	大館市立図書館	逗子市立図書館			
	山形県立図書館				

三重	朝日町図書館「あさひライブラリー」	大阪	八尾市立八尾図書館	福岡	福岡県立図書館
	松阪市松阪図書館		富田林市立金剛図書館		北九州市立中央図書館
	いなべ市北勢図書館		大東市立中央図書館	熊本	人吉市図書館
	明和町立図書館		箕面市立中央図書館		荒尾市立図書館
	長島輪中図書館		泉南市立図書館		菊池市中央図書館
	紀伊長島図書室		熊取町立熊取図書館		天草市立牛深図書館
滋賀	多賀町立図書館		河南町立図書館		天草市立河浦図書館
	甲賀市甲賀図書情報館		堺市立西図書館		大津町立おおづ図書館
	湖南市立甲西図書館		茨木市立中央図書館	大分県立図書館	
	日野町立図書館		泉佐野市立中央図書館	宮崎	えびの市民図書館
京都	京都市北図書館		阪南市立図書館		都城市立図書館
	京都市醍醐中央図書館		高槻市立中央図書館	沖縄	那覇市立牧志駅前ほしぞら図書館
	亀岡市立図書館		泉大津市立図書館		宜野湾市民図書館
	京田辺市立中央図書館		兵庫		加西市立図書館
大阪市立中央図書館	奈良市立北部図書館	豊見城市立中央図書館			
大阪	堺市立健康福祉プラザ 視覚・聴覚障害者センター まちライブラリー プラザ「ひといき」	奈良	大和高田市立図書館		金武町立図書館
	岸和田市立図書館		香芝市民図書館		計 31 都道府県 176 館
	豊中市立岡町図書館		生駒市図書館南分館		
	池田市立図書館		生駒市図書館		
	八尾市立志紀図書館		斑鳩町立図書館		
	八尾市立龍華図書館		広陵町立図書館		
	和歌山	島根	那智勝浦町立図書館	桜井市立図書館	
			島根県立図書館	田原本町立図書館	



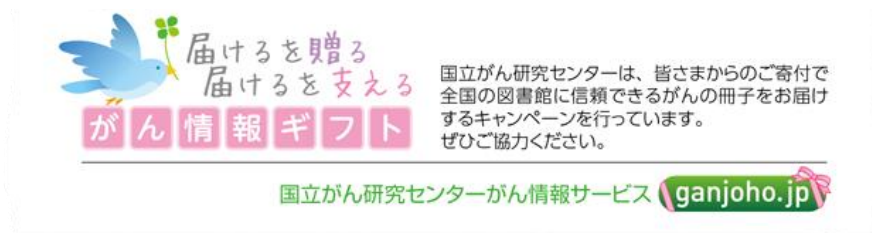
● 2020年9月新規寄贈予定館一覧

埼玉	川口市立中央図書館	東京	品川区立品川図書館	兵庫	猪名川町立図書館
東京	檜原村立図書館		品川区立大井図書館		いちかわ図書館
	青ヶ島村図書館	三重	伊勢市立伊勢図書館	三田市立図書館ウッディタウン分館	
	日の出町立図書館		津市久居ふるさと文学館		
	小笠原村地域福祉センター 父島図書室		津市津図書館	尼崎市立北図書館	
	三宅村立図書館	大阪	木曾岬町立図書館	福岡	中間市民図書館
	墨田区立立花図書館		枚方市立中央図書館	計 6 都府県 20 館	
	吹田市立千里図書館				

皆さまのご寄付により、2019年度も多くの公共図書館に「がん情報ギフト」をお届けすることができました。世の中にがんに関するさまざまな情報が溢れるなか、「がん情報ギフト」は、がん対策情報センターが科学的根拠に基づき作成しているがんに関する冊子のセットであることから、がんが疑われている方やがんと診断を受けた方、そのご家族に大変喜ばれています。また、大きな医療機関がない小さな市町村からも、たくさんの感謝の声が届いています。

今後は、寄贈先への冊子の継続的な補充や、最新の情報に更新された新しい冊子への差し替えなど、切れ目のない支援を続けることが求められています。

これからも、「確かながん情報」を届ける活動に、皆さまのご支援をお願いいたします。



〈がん情報ギフト連携プロジェクト企画〉

● 巡回図書「身近にがんを考える」展示キット

地域の図書館が、がんの情報発信基地としてより充実していく取り組みの一環として、巡回図書「身近にがんを考える」展示キットの企画を開始しました。がんの患者さんが直面する食事、就労、経済面などの生活上の課題について、4つのシナリオをもとに選書しました。シナリオは、「ママ友ががんになったら」、「部下ががんになったら」、「友達ががんになったら」、「おじいちゃんががんになったら」のように、周囲の誰かががん罹患した場合を想定しており、がん罹患していない人にも手に取っていただけるようにしました。本の選定はWeb協働選書プロジェクトが、展示キットに使用したイラスト、popの作成は、実践女子大学図書館ボランティアららすた有志が担当しました。

この企画は北海道内のほか、2020年9月からは三重県内でも展開していきます。

● 巡回順、展示期間と対象施設の一覧

No.	展示期間	施設名	No.	展示期間	施設名
1	2020年4月	函館市中央図書館	6	2020年9月	登別市立図書館
2	2020年5月	滝川市立図書館	7	2020年10月	足寄町図書館
3	2020年6月	新ひだか町図書館	8	2020年11月	新得町図書館
4	2020年7月	市立名寄図書館	9	2021年1月	恵庭市立図書館
5	2020年8月	岩見沢市立図書館	10	2021年3月	美唄市立図書館

● 函館市中央図書館からの報告

利用状況

- ・展示直後から手にとって熱心にご覧になっている方もいました。来館者から展示に関する質問を頂戴したり、ブックリストをお持ち帰りいただいたりしました。新聞社2社（北海道新聞・函館新聞）から取材がありました。
- ・当館に所蔵のない展示本の貸出リクエストが多数寄せられ、館内で検討の結果、相互貸借パックを用いてお貸しできました。

図書館スタッフより

- ・説明用展示パネルはA2とA3サイズが用意され、スペースに応じて自在に使用できて助かりました。
- ・とても上手なポップでした。当館にてさらに、本とポップの照合を速やかにできるよう、ポップ裏面に書籍番号を添付しました。



● 2019年8月～2020年7月寄贈館：寄贈先の紹介

※一部の図書館を抜粋してご紹介しております。

図書館名	寄贈先の声	開架の様様
<p>北海道 ● 新得町図書館</p>	<p>来館者の目にふれるようカウンター近くにごん情報ギフト展示コーナーを設置。その後は2階の医療関連の棚に常設しています。冊子を持って帰られる方やごん予防の大切さを話していただけるお客様がいらっしゃいます。2019年11月に実施された、町保健福祉課主催のごん予防講座の会場にごん情報ギフトとごん関連の所蔵資料を紹介するごん情報コーナーを設けて、参加者のみなさんにPRすることができました。</p>	
<p>北海道 ● 登別市立図書館</p>	<p>登別市立図書館アーニス分館に当館所蔵の関連書籍と併せて「ごん情報ギフト」を設置させていただきました。アーニス分館はショッピングセンターと併設しており、より多くの方が手にとってご覧いただけると期待をしています。今後は登別市立図書館本館でも展示を行う予定です。市民の皆様に関心をもっていただけるよう、最新情報を随時発信していきたいと考えております。</p>	
<p>岩手県 ● 洋野町立種市図書館</p>	<p>いただいたお気持ちを「きちんと届ける」ことができるよう図書館としても工夫していきたいと思っております。当館では出口ドアの内側にパンフレットコーナーを設置しました。必要な方の手に確実にお渡しできるように、その方の救いになれるようにと願いをこめ、持ち帰りやすい場所に置いています。どうぞ、遠慮なくお持ちになってください。まちがいなく「生きる力」になります。また、コーナー以外にも健康・病気に関する本をそろえておりますので、ご利用ください。</p>	
<p>福島県 ● 須賀川市立中央図書館</p>	<p>複合施設 tette(てって)の中にある当館では、今回寄贈していただいた「ごん情報ギフト」を「病気と健康」コーナー付近に展示しました。各種ごんの冊子やパンフレットが配置され、蔵書と合わせてごんについての知識と関心を深めていただくことができますので、ぜひご利用いただきたいと思っております。館内の他フロアにある医学関係資料の活用や、地元医療機関情報などの案内にもつながるように図っていきます。</p>	
<p>千葉県 ● 習志野市立中央図書館</p>	<p>習志野市立中央図書館では2019年11月の中央図書館のオープンとともに、医療関係図書の棚に、寄贈いただいたごん情報ギフトセットのコーナーを設置しました。設置当初から好評で、20代位の若い方からの問い合わせを受けることもあります。すでに一部の冊子は在庫が僅少で、皆様の関心の高さがうかがえます。今後も医療情報の提供に努めていきたいと考えております。</p>	

図書館名	寄贈先の声	開架の様様
<p>山梨県 ● 中央市立玉穂生涯学習館</p> <p>玉穂生涯学習館には、近くに山梨大学医学部があることから健康・医療に関する本を多数収集した「健康・医療情報コーナー」を常設し、ご寄贈いただいた「がん情報ギフト」をこちらに設置しています。また、がんに関する図書資料も併せて展示することで、幅広い情報を提供する当館のメインコーナーとなっています。</p>		
<p>静岡県 ● 浜松市立舞阪図書館</p> <p>舞阪図書館では利用者に認知していただけるよう、「がん情報ギフト」をがんに関する資料や地域の医療情報とともに、企画展示として一定期間PRしました。冊子を手にする方も多く、利用者からは「本当に役に立った」とのありがたいコメントをいただいております。現在は以前より設置している「医療・健康情報コーナー」に場所を移し、引き続き地域の皆様に提供させていただいております。</p>		
<p>静岡県 ● 富士市立中央図書館</p> <p>富士市立中央図書館では、ご寄贈いただきました「がん情報ギフト」を医療関係資料のある書架の近く、一般用OPACコーナーの一角にスペースを設け配置しました。がんに関する信頼できる情報をお探しの方は、ぜひご来館ください。また、当館では以前より医療関係のパスファインダー「医療情報調べ案内」を作成し、それに合わせた特集などをしておりました。こちらも「がん情報ギフト」と併せてご利用ください。</p>		
<p>三重県 ● あさひライブラリー</p> <p>令和元年11月から「がん情報ギフト」を活用させていただいております。三重県立図書館と連携した「がんを知ろう、相談しよう」キャンペーンコーナーの中で関連書籍の紹介とともにご寄贈いただいた冊子の配布を行っています。今後もがんについての確かな情報を、患者さんやご家族の支援につながるよう活用させていただきます。</p>		
<p>大阪府 ● 泉南市立図書館</p> <p>当館の展示場所は、医学や闘病記の棚の近くに場所がとれなかったため、窓際の大型本書架の上段の傾斜の付いた場所を利用しています。逆に、広く場所が取れたので、すべてのパンフレット、資料を平置きしてアピールできました。またこの場所は、動線上、医学に興味のある方だけが行く場所ではないので、逆に家族や身近な方ががんである方々が手に取りやすい場所であるようにも思います。</p>		

図書館名	寄贈先の声	開架の様様
<p>大阪府 ● 池田市立図書館</p> <p>池田市立図書館では、さまざまな病気に関する書籍やガイドライン、闘病記などの資料を集めた医療情報コーナーが設置されています。ご寄贈いただきました「がん情報ギフト」は当コーナーの「がん情報」の棚にてご覧いただけます。持ち帰りできる冊子もあり、たくさん種類があることに驚かれる声もありました。当館所蔵の資料とあわせてぜひご活用ください。</p>		
<p>奈良県 ● 桜井市図書館</p> <p>貸出カウンター前に設置しましたので、利用者さんからよく声をかけていただきます。「各がんに特化した冊子でわかりやすい」「持ち帰れるのでゆっくり読むことができる」「がんと一言で言っても、これだけ種類があることにびっくりした」などの反応がありました。</p>		
<p>熊本県 ● 大津町立おおつ図書館</p> <p>国立がん研究センターが発行したパンフレットなどをまとめた「がん情報ギフト」をご寄贈いただきました。2人に1人が罹患するほど身近な病気となった「がん」。がんになってもあわてず、必要な情報を得て自分らしく生活できる社会を実現するために始まったプロジェクトです。全国のみなさまからの寄付により、地域の図書館に寄贈されます。館内で見える資料だけでなく、お持ち帰りいただく資料もたくさんありますので、ぜひご覧ください。</p>		
<p>宮崎県 ● えびの市民図書館</p> <p>えびの市民図書館では、これまでもがん関連や医療情報などの展示を行い、利用者への情報提供を行っております。今回寄贈いただいた「がん情報ギフト」の設置にあたり、新たにがん予防、がん治療コーナーを設けました。信頼できる情報を得られるよう各種がんに関する図書館資料、特に部位別の情報や治療に関する本、闘病記などを多数そろえ、みなさんの役に立つ、信頼できる情報の提供に積極的に取り組んでまいりますので、ご活用ください。</p>		
<p>沖縄県 ● 那覇市立牧志駅前ほしぞら図書館</p> <p>那覇市立牧志駅前ほしぞら図書館は、地域がん診療連携拠点病院の指定を受けた那覇市立病院との連携事業として、那覇市立病院から寄贈された図書を「医療・健康情報」コーナーとして設置しています。今回は、「がん情報ギフト」の資料をその一角に設置させていただきました。さまざまながんや、その周辺情報についての冊子のセットでお持ち帰りいただけるパンフレットもあります。多くの方にご活用いただければ幸いです。</p>		

〈がん情報ギフト連携プロジェクト企画〉

● 図書館・行政・病院の連携による市民への情報提供の充実に向けた取り組み

● 図書館-がん相談支援センター連携ワークショップの開催

国立がん研究センターでは、がんをはじめとする健康や医療に関する情報を、生活の中で身近に感じられるような環境づくりを目指して、図書館と医療機関が連携したプロジェクトを進めています。

今年度は「いつでも、どこでも、だれでもが、がんの情報を得られる地域づくりの第一歩 in 札幌」として、2019年9月5日、北海道札幌市（札幌市教育文化会館）にて開催されました。



北海道・日高地域での取り組み紹介 ～小さな町での第一歩～

拠点病院やがん相談支援センターのない日高地域の浦河町立図書館では、町民の医療情報支援のために、がん情報講座の開催、日赤病院内への返却ポスト設置、リーフレット作成など、さまざまな取り組みを行っています。令和元年8月には、Web協働選書プロジェクトへの参加と、国立がん研究センターと連携した「身近にがんを考える」の展示を実施しました。



一方、浦河町保健福祉課では、日高管内でのがん検診受診状況が低いことを問題視し、がん検診などの情報提供に関する取り組みを行いました。Web上に「健康カレンダーがん日程ページ」の開設、新聞折り込みチラシや“のぼり”、ポスターの作成、チラシ入りティッシュの配布など、PRを積極的に実施しています。



苫小牧市での取り組み ～医学講座をきっかけに生まれた新たなネットワーク～

図書館と病院とが連携し、市民への医療情報の提供を積極的に行っています。特徴的な点は、王子総合病院（私立）・苫小牧市立病院（市立）・市立中央図書館の三者共催による講演会の実施、毎年講師と共催者を広げ市内全体へと取り組みを拡大、講演参加者への「とまちヨッピーポイント」（地域通貨）の

付与、の三点です。病院と共催して講座を開設することで、市民に正確かつ有益な情報提供を行うことができ、過去3回の講座はいずれも高い満足度を得ています。また、異業種による緩やかな連携・協力が可能になり、事業等を周知する機会が増えました。



函館市での取り組み

～函館市中央図書館「がん情報コーナー」について～

函館市中央図書館では、国立がん研究センターからの「がん情報ギフト」の寄贈をきっかけに、がん情報コーナーを開設しました。1段目には図書館の本を、2段目には函館市と、近隣の北斗市・七飯町のがん検診の案内を置いています。3段目と4段目には、がん情報ギフトの冊子を設置しました。図書館の医療の本は古いというイメージを、「がん情報コーナー」開設を機に払しょくしています。



～図書館 de がん情報発信～



函館五稜郭病院は、北海道道南と青森県の一部をカバーするがん診療拠点病院です。2019年10月には、市健康増進課、中央図書館との共催により、「図書館 de がん情報発信」というイベントを開催しました。イベントでは、がん検診受診率向上とがん相談支援センターの広報のための講演会やパネル展示、推薦図書展示などを実施しました。その他にも、がんに関する情報提供や、がん相談支援センターの認知のために、各所と連携しさまざまな取り組みを行っています。

事例紹介者全員によるディスカッション

浦河町が様似町、えりも町と合同で行う、検診受診率向上のための活動が話題となりました。いずれも検診受診率が低く、町内の居酒屋にがん検診チラシを置くなどの工夫をしていることなどが紹介されました。

苫小牧市での取り組みにおいては、地域通貨「とまチョップポイント」に関心が集まりました。図書館で行うがんの講演会などに参加するとポイントが付与される仕組みは、市民の健康づくりと地域活性化を組み合わせたユニークさが興味深いと話題でした。

函館市は、当時これから連携事業が本格化する段階にあり、互いに敷居が高いと感じていたが、直接会って取り組む中で、“こんなに優しい方だったのか”と感じる関係ができたとのこと。

最後に、司会の田村俊作名誉教授（慶應義塾大学）からの、WinWinで楽しくやるのがコツであり、お互いに顔を合わせる機会が重要だと感じた、との言葉で締めくくられました。

● メディア掲載

多くの記事に「がん情報ギフト」プロジェクトを取り上げていただきました。

記事掲載日	媒体	タイトル
2019.8.2	足立よみうり	区内6図書館に「がん情報コーナー」設置
2019.8.5	足立朝日	区内図書館に「がん情報コーナー」開設
2019.8.6	読売新聞（福岡版）	がん情報コーナー 福岡市総合図書館に開設
2019.8.6	読売新聞（江東版）	がん治療紹介 冊子コーナー 足立の6図書館
2019.9.7	埼玉新聞	がんの基礎知識 専門家が解説（埼玉県立久喜図書館の企画展示と特別講演会を紹介）
2019.9.7	毎日新聞	図書館を信頼できるがん情報拠点に 全国 190 館に「ギフト」寄付で広がる輪
2019.9.22	読売新聞（全国版）	図書館をがん情報の拠点に 冊子配布や「巡回展」開催
2019.10.1	北海道新聞	正しい情報発信 図書館から 拠点病院が協力 コーナー開設
2019.10.22	日経グッデイ	病気の情報はまず図書館で 病院連携で専用コーナーや出張相談も
2019.11.28	日経 BP Beyond Health	「図書館」を“がん情報”の発信地に！
2020.1.23	タウンニュース	神奈川 R C「がん情報ギフト」を寄贈
2020.3.13	奄美新聞	すべての人が利用しやすい図書館に
2020.3.30	週刊医学界新聞	信頼できるがん情報を全国の公共図書館に贈る
企画 PR 広告掲載日	媒体	タイトル
2020.2.29	秋田魁新報	企画 PR（「がん情報ギフト」を秋田県内の公共図書館に！ご支援をお願いします）

トピックス

病気の情報はまず図書館で 病院連携で専用コーナーや出張相談も

進む図書館と病院の連携
2019/10/22 福島恵美 =ライター

図書館でがんなどの医療・健康情報を発信しているところが増えている。国立がん研究センターは、日常生活に密着した場所の中で、がんの情報を得られる環境づくりの一環として、図書館と病院が連携するプロジェクトを進めている。「図書館であればインターネットが苦手な60代以上の患者でも落ち着いて情報を得られる」「病院と違って、病気になる前から身近な場所で医療・健康情報に触れられる」などのメリットがあるようだ。

図書館で今何が起きているのか。自身もがんになったライター・福島恵美が、国立がん研究センターがん対策情報センターの八巻知香子さんに、図書館との連携プロジェクトや図書館活用法について聞いた。

日経グッデイ 2019.10.22
病気の情報はまず図書館で 病院連携で専用コーナーや出張相談も

「図書館」を「がん情報」の発信地に！

図書館や治療のためにある場所ではないからこそ多様な発信力に

日本における死の原因の第1位、生涯に2人に1人が罹患すると言われるがん。しかし、実際にがんになるまでは自分ごととして捉えにくく、いざがんになると何をすればよいのか頭が真っ白になってしまうケースも多い。加えて「死に足る」印象が強いため、救いを求めるかのようにさまざまな情報を求め、かえって混乱してしまうこともある。

がんに立ち向かうための適切な情報を届けるにはどうすればよいか。国立がん研究センターはこうした課題に対し、「図書館」との連携を推進している。具体的には、「がん情報普及のための医療・福祉・図書館の連携プロジェクト」を実施している。「第21回図書館総合会」（2019年11月22～24日、パシフィコ横浜）では、「健康医療情報の地域資源としての公共図書館」とのテーマで報告を行った。

多様性のある図書館こそ情報発信に最適

日本ではどこでも質の高いがん治療を受けられるように、全国各地の二次医療圏内にがん診療連携拠点病院を設けている。これらの病院にはがん相談支援センターが必ず設置されており、通院者でなくとも誰もが無料で相談できる。

日経 BP Beyond Health 2019.11.28
「図書館」を“がん情報”の発信地に！

「がん情報ギフト」を秋田県内の公共図書館に! ご支援をお願いします



いつでも、どこでも、たれでもが、がんの正しい情報を手に取れる地域づくりのために、皆さまのご寄付のおかげで、国立がん研究センターが制作する「がん情報ギフト」を贈りませんか?

私たち国民の2人に1人が、がんにかかる時代。国立がん研究センターががん対策情報センターでは、「がんになっても安心して生活できる社会をつくる」ために、身近な生活の場でもいつでも誰もが正しいがんの情報を手に取れるよう、全国の公共図書館に国立がん研究センターが制作している「がんの冊子」などのセットを寄贈する「がん情報ギフト」というプロジェクトを行っています。

「がん情報ギフト」は、個人や賛同企業からいただいたご寄付により寄贈されています。お一人様1,000円から寄付していただけます。ご寄付が30,000円集まると1館に寄贈されます。今後も活動を継続しながら、さらに届けていために、皆さまのご寄付が欠かせません。すべての人が身近な場所で、信頼できるがんの情報が得られる地域づくり、ぜひお力添えください。

ご利用者の方・図書館からの声

- ◆自分のがんを知る手がかりになり、正しい情報を知ることができました。皆さんの寄付で設置されたことを知り大きな力になりました。(群馬県・女性)
- ◆国立がん研究センターの情報であること一番の安心感があります。情報があふれる中、科学的根拠のある話はとても詳しく、信頼できました。(鳥取県・女性)
- ◆患者の方やご家族だけでなく、健康な方々にも関心を持って手にとっていただける「身近で確実な情報源」として日々活用されています。がん患者の方々と共に生きる社会をつくるために、「がん情報ギフト」と図書館の輪がより広がることを願っています。(山形県・山形市中央図書館)

秋田県内の「がん情報ギフト」の寄贈図書館

- 秋田県立図書館
- 山形市中央図書館
- 鹿角市立花輪図書館
- 鹿角市立十和田図書館
- 能代市立図書館
- 秋田市立中央図書館明徳館
- 秋田市立新屋図書館
- 横手市立平岡図書館
- 横手市立雄物川図書館
- 大館市立図書館



「がん情報ギフト」とは?
がん対策情報センターが制作した「がんの冊子」(40種類)やチラシなどがセットになっています。個人や賛同企業からのご寄付により全国の公共図書館に寄贈されます。

ご寄付の方法
お一人様1,000円から、クレジットカード、ペイジー、銀行振込、つなごを郵送等でお申し込みいただけます。ご支援額や回数、歳などを調整できます。また、特定公益増進法人への寄付として、税制上の優遇制度が受けられます。ご寄付が30,000円集まると1館に寄贈されます。詳しくは、下記のウェブサイトをご覧ください。



届けるを贈る 届けるを支える「がん情報ギフト」プロジェクト **がん情報ギフト** 国産
国立がん研究センター がん対策情報センター | がん情報ギフト事務局
☎03-3547-5201 (内線1620) 受付時間:9時~17時(土日祭・年末年始を除く)

これらの企画PRは「がん情報ギフト」プロジェクトの賛同企業である住友生命保険相互会社の協成により行っています。 **がん情報サービス ganjoho.jp** 住友生命

秋田魁新報 2020.2.29 〈* 広告掲載〉 企画 PR (「がん情報ギフト」を秋田県内の公共図書館に! ご支援をお願いします)



信頼できるがん情報を全国の公共図書館に贈る
八巻 知香子 国立がん研究センターがん対策情報センター がん情報対策推進課長 課長 兼 課長

2人に1人はがんになる時代。治療成績は年々向上し、現在では6割の人は治療し、仕事と治療を両立させている人も多い。しかし、多くの人にとってがんは他人事であり、いまだ不治の病であるというイメージも根強い。診断されて初めて自分事となったがんに対して、冷静な判断ができない場合も多く、そんな不安と焦りに付け込む根拠のない治療法や商品も枚挙にいとまがない。

国立がん研究センターがん対策情報センターが2006年に設立されて以降、ウェブサイト「がん情報サービス」を通じた情報発信に加え、インターネットが利用できない人も情報が届くよう、冊子や書籍による情報発信も行ってきた。「がんの冊子」シリーズは、各種がんの治療や療養の情報を扱う20~30ページの小冊子で、34種類を刊行している。特に高齢者では紙媒体のニーズは高く、これらの冊子は全国に436か所(2020年3月1日現在)あるがん診療連携拠点病院等で配布され、毎年80万~100万部が活用されている。

しかし、病院を通じた情報提供には限界がある。病院に来るのは、がんの診断、もしくはがんの疑いのある患者さんやその家族であり、大きな不安を抱えて病院を訪れる。普段ならば目に入る情報も目に入らなかったり、冷静な時であれば驚くような宣伝に吸い寄せられたりすることも多い。がん診療連携拠点病院に設置された「がん相談支援センター」は、その病院にかかっていない人も含め、誰でも無料で相談できる窓口であるが、全ての患者さんに認知されるまでには至っていない。そこで当センターが着目したのは、全国に約3000ある公共図書館である。

病気になって初めて訪れる病院とは異なり、誰でもふらっと立ち寄ることのできる身近な情報提供施設で、毎年延べ3億人以上が利用しているといわれる。健康・医療情報コーナーを設ける施設も年々増えている。子ども連れか

ら高齢者までの幅広い年齢層の方の目に自然に触れることで、「がんになったときの信頼できる情報は図書館で得られる」と感じてもらい、診断直後のパニックの中で情報を探し始める困難を減らすことができるのではないかと。このような発想で、「がん情報ギフト」プロジェクトを2017年から開始した。「がん情報ギフト」プロジェクトは寄付事業である。がん対策情報センターの予算では紙媒体普及のための費用を賄うことができないため、全国の皆様から寄付を募り、3万円集まるごとに写真の「がんの冊子」などの資料セットを寄贈する。寄付者は都道府県を指定した寄付が可能で、これまでに全国349館に寄贈してきた(2020年3月1日現在)。「がん情報ギフト」の寄贈館が近隣の「がん相談支援センター」と連携する機会も増えており、このギフトを入口として必要な支援窓口へ届く機会も拡充されつつある。

「がん情報ギフト」を手にとった方からは、「情報があふれる中、国立がん研究センターの情報であること一番の安心感があります」などのコメントも寄せられている。役立ったと感じてくれた人が、次の人のために、と気持ちをつなぐ事業として運営していきたい。

●やまき ちかこ氏/2006年東大大学院医学系研究科博士課程修了。博士(保健学)。国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所(当時)、国立がん研究センター研究所などを経て、14年より現職。

タウンニュース 2020.1.23 神奈川RC「がん情報ギフト」を寄贈

神奈川RC「がん情報ギフト」を寄贈
60周年記念で5図書館に
(写真)

社会福祉団体・神奈川ロータリークラブ(黒田隆嗣会長)は、このほど、創立60周年記念事業の一環として、がんに関する資料セット「がん情報ギフト」を神奈川図書館など5施設に寄贈した。

同クラブはこれまで、スリランカへのトイレ整備事業や神奈川区障がい者地域作業所連絡会との交流会を開催するなど、国内外さまざまな社会活動を行ってきた。

今回の寄贈は、創立60周年記念事業の一環。国立がん研究センターがん対策情報センターの若尾 文彦センター長が、同クラブの例会で「がん情報ギフト」を紹介したことがきっかけとなった。

がんになってもあわてず、必要な情報を得て、自分らしく生活できる社会を実現してほしい。「がん情報ギフト」(一式3万円)は、国立がん研究センターが発行するがんに関する資料を、全国の図書館などに寄贈するプロジェクトだ。

肺がんや乳がん、胃がんなど、持ち帰ることができる配布用の「がんの冊子」7種と閲覧用冊子約40種がこのほど、神奈川図書館をはじめ神奈川地区センター、神大寺地区センター、菅田地区センター、幸ヶ谷公園コミュニティハウスに寄贈された。

奄美新聞 2020.3.13 すべての人が利用しやすい図書館に

「すべての人が利用しやすい図書館に」
2020年3月13日

国立がん研究センターがん対策情報センター(以下、子会)が寄贈した、がんに関する資料を、あま市に図書館を利用しやすくする「がん情報ギフト」が、あま市に寄贈された。あま市に寄贈された「がん情報ギフト」は、あま市に寄贈された。あま市に寄贈された「がん情報ギフト」は、あま市に寄贈された。

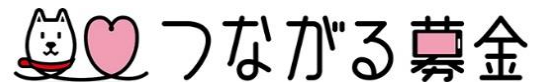
週刊医学界新聞 2020.3.30 信頼できるがん情報を全国の図書館に公共図書館に贈る

※いずれもご許可をいただいて掲載しております。

● 寄付プロジェクト普及に向けた取り組み

● ソフトバンク株式会社「つながる募金」への参加

もっと気軽に「がん情報ギフト」にご参加いただけるよう、ソフトバンク社運営の「つながる募金」に加入しました。今後は、携帯電話利用料の支払いやTポイントを利用して募金いただくことが可能です。他の携帯電話会社でも同様の仕組みが導入され次第、順次対応する予定です。



● がん情報ギフト「かわら版」の定期配信

当プロジェクトの最新ニュースをはじめ、寄贈先図書館の「がん情報ギフト」セットの活用状況やスタッフの皆さまの声などをお届けする、がん情報ギフト「かわら版」を定期配信していく予定です。

図書館間の情報交換の場として、さらには最寄りのがん相談支援センターや行政等各種機関と“つながるツール”としてご活用いただけます。

● 寄贈先アンケートはがきの導入

「がん情報ギフト」セットの寄贈先図書館にて、がんの冊子やちらしに対するアンケートはがきの配布を始めました。利用者の声から、がんに関するどういった内容の情報を提供していくべきかなどを検討し、信頼できるがん情報の発信に努めていきます。

The image shows a survey form with the title 'あなたの声が“力”になります。' (Your voice becomes 'power'). The text explains that the survey is to improve the 'Gan Information Gift' project. It includes a section for '本冊子・ちらし' (This booklet/flyer) with a question 'ご覧になりましたか。' (Did you see it?) and a dropdown menu for '都道府県' (Prefecture). Below that is a question '手に取られた冊子・ちらし名を教えてください。' (Please tell us the name of the booklet/flyer you picked up). There is also a question '上記の冊子・ちらしについて、ご意見・ご感想をお聞かせください。' (Please let us hear your opinion/feelings about the above booklet/flyer). At the bottom, there is a question '図書館の健康・医療情報コーナーの充実度について、ご意見・ご要望をお聞かせください。' (Please let us hear your opinion/request about the improvement of the health/medical information corner of the library).

● お問い合わせ

国立研究開発法人 国立がん研究センターがん対策情報センター がん情報ギフトプロジェクト事務局

電話番号：03-3547-5201（内線 1620、1614、1615） FAX 番号：03-3547-8577

Eメール：library_sodan@ncc.go.jp

受付時間：9:00～17:00（土日祝、年末年始を除く）

届けるを贈る 届けるを支える『がん情報ギフト』プロジェクト

https://www.ncc.go.jp/jp/d004/donation/ganjoho_gift/

がん情報ギフト 🔍 検索